

田頭さん(松山)最高賞

環境教育ポスター公募展

環境問題への思いを絵や標語で表現する2020年度の「環境教育ポスター公募展」で、松山市椿中学校美術部1年の田頭花唯さん(13)の作品が、最高賞の文部科学大臣賞に輝いた。桃太郎の鬼退治を「ごみ退治」に置き換えて、桃太郎、イヌ、サル、キジがごみでいっぱい砂浜を片付けに行く様子を描いた。

公募展はこども教育支援財団 大島の親戚宅近くにある浜辺が主催。小、中、高校の部に国を見て「前はきれいだったのに、内外から計3716点の応募が 年々ごみが増えていくのを見て胸がぎゅっとなった」。そんな

田頭さんによると、今治市の な時、伊方町で海岸清掃をす



桃太郎題材「ごみ退治」描く

るボランティアグループを新聞で知り、仲間と協力して鬼退治に向かう桃太郎と重なって見えたという。「自分たちで汚した場所は、自分たちで元に戻さないと」との思いを絵に託した。

ポスターは夏休みを使い約2カ月で制作。桃太郎には刀ではなくごみばさみを持たせ、サルの背には、ごみの減量やリサイクルを進める意味の「4R」の文字を入れた。黒い文字で「行くぞ お前ら」の標語を入れて力強さも表現。動物たちの毛並みやごみを入れる竹かごも、繊細に描ききった。

審査委員は「ごみ退治」の発想を高く評価し、講評で「人間の心の中にある鬼を退治するんだということもイメージさせてくれる」と称賛している。

田頭さんは「まさかこの賞をもらえるとは思わなかったの、とてもうれし」と嬉しがり。ごみの量と質でポイントを競う「スポーツごみ拾い」への挑戦にも意欲を燃やしているといい「誰かがではなく、自分から環境問題に向き合っていきたい」と語った。

(増田有梨)

文部科学大臣賞に輝いた「ごみ退治」のポスターを掲げる田頭さん